



..... 主な記事

- 地域支援センター ゆい学習会・・・ 2
- 社協事業報告・決算報告
- 経営戦略プログラム第3期・・・ 3
- 地域の福祉最前線・・・・・・・・・・ 4
- 地域の福祉お助けマン・・・・・・ 5
- 情報掲示板・・・・・・・・・・ 6～7
- 職員募集・基金・寄附・・・・・・ 8

社協だより

ひらかた

自分らしさがはじける スポーツ交流会



みんなで考えたスポーツ交流会で広がる「わ」

7月8日、枚方市立総合体育館で、障害のある人たちの交流と日常生活の充実を目的に「第27回ふれあいスポーツ交流会」を開催しました。障害のある人や家族、ボランティア、総勢約700人がスポーツを通して交流を深めました。

この交流会は、地域支援センターゆいが中心となり、市内12カ所の事業所の協力を得ながら、障害のある人で組織する実行委員会を立ち上げ、みんなで作りあげてきました。当日は、障害のある人が、自分らしく参加している姿に励ましの声援や拍手が、会場いっぱい広がっていました。最後のダンスでは、参加者全員でこの交流会をつくりあげているという一体感を実感していました。

地域支援センターゆいは、これからも障害のある人が地域で生き生きと暮らせるよう、さまざまな支援活動に取り組んでいきます。

自分たちの思いを伝える

「障害者差別解消法」の学習会



地域支援センター ゆいは、主に知的障害のある人の地域生活を支援することを目的に、相談支援を中心にさまざまな活動に取り組み、「地域でより豊かに生活していくために、障害のある人本人が力をつけること」を大切にしています。

取り組みの一つとして、平成20年から法律のことや生活に必要な知識などの学習会を定期的に開催しています。

『障害者差別解消法』の施行が決まり、障害のある人たちにこの法律を知ってもらいたいという思いから、大阪府立大学人間社会システム科学研究科准教授三田優子氏を招き、『障害者差別解消法』の学習会を平成26年から8回開催してきました。

「自分の思いや意見が言える、聞いてもらえる学習会」を基本とし、「障害って何?」「虐待ってどんなこと?」「差別や虐待を無くすにはどうしたらいい?」と参加者に質問を投げかけ、会場からは感じ



大きく手を挙げ「話したい!」

た意見や自分の辛かった経験などを発表しました。初回の学習会での意見は少数にとどまっていたですが、回を重ねる度に多くの参加者から手が



たくさんの人に伝えたい

挙がるようになり、終了後には「また学習会を開いてほしい」という声がたくさんありました。

三田氏は、「今まで障害のある人たちが話す場所や聞いてもらう場所がなかったから、このような反響があったのではないか」と話していました。

障害者差別をなくしていくには、障害のある人本人が差

別について声をあげていくこと、障害について市民に理解してもらうこと、この両方が必要です。

今後も障害者差別のない社会を目指し、学習会などに取り組んでいきます。

問い合わせ

地域支援センター ゆい
TEL..808-2422
FAX..808-2423

平成28年度事業報告・決算報告

問い合わせ

総務課

TEL..844-12443
FAX..845-1897

組織の基盤整備

改正社会福祉法に則り、定款や諸規程等の改正を行うとともに、組織体制の強化を図り、新たな地域福祉活動や組織運営の方向を明らかにするため、「経営戦略プログラム(第3期)」を策定しました。

地域福祉活動

個別相談支援を行うコミュニケーションソーシャルワーカー(CSW)の出張相談会場を13力所から15力所に増やした

災害時への対応

事などで、相談件数が大幅に増加しました。内容も多様化しているため、関係機関や校区福祉委員会、民生委員児童委員等との緊密な連携を行いました。

枚方市・枚方寝屋川消防組合や民間企業などの協力を得て、「遊んで・学ぼう」をテーマに、災害時の支援体制や防災への知識の啓発のため、「よどがわ防災まつり」(淀防)を開催しました。

枚方市社会福祉協議会 会長が変わりました

会長 武 正行
副会長 宮原 永井 狩野 昭夫 史男

今後とも、よろしくお願いします。



武 正行 会長

福祉課題へ柔軟に対応できる組織体制を

枚方市社会福祉協議会

経営戦略プログラム（第3期） 目標と主な取り組み
計画期間：平成29年度～平成33年度（5カ年計画）

本会は、地域福祉の推進を使命として、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を理念として活動しています。

の3つの方針について重点的に取り組みを進めます。

●地域共生社会の推進

地域のあらゆる住民が支え合いながら、一人ひとりが自分らしく活躍できる地域づくりの推進をめざします。

●透明性の向上

事業運営における透明性の向上のため、財務諸表や現況報告書を公表し、基金等を活用して、社会福祉事業への計画的な投資を行います。

取り組みの方針

第3期プログラムでは、次

●変化する課題に柔軟に対応できる組織作り

地域を取り巻く環境の変化によって福祉課題が複雑、多

福祉情報をタイムリーに発信できる仕組みづくり。

福祉関係だけに留まらない各分野とのネットワークづくり。

地域できめ細やかな活動を進めるための拠点確保。

相談機能の強化。

新たな担い手の養成・人材の確保。

既存事業の見直しや事務局体制等を再構築し、職員の専門性の向上や、多様な財源確保を行います。

詳しい内容はホームページをご覧ください。

問い合わせ

総務課
TEL 844-2443
FAX 845-1897



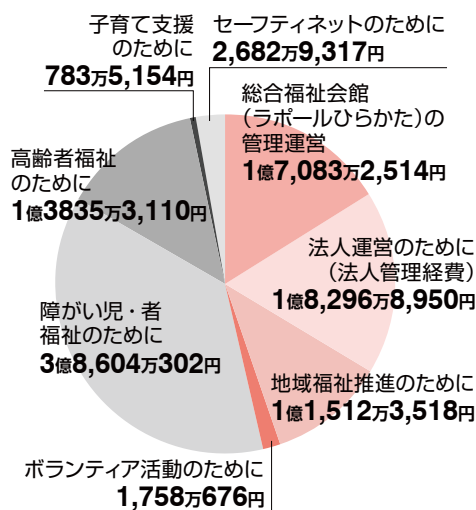
貸借対照表

（平成29年3月31日現在）

資産の部	
流動資産 計	224,786,402円
現金	294,885円
預貯金	71,931,323円
事業未収金	75,395,387円
未収金	71,822,730円
立替金	2,818,799円
前払金	2,490,570円
仮払金	32,708円
固定資産 計	937,281,448円
基本財産	3,000,000円
固定資産物品	7,056,920円
退職共済預け金	385,905,680円
長期預り金積立資産	3,761,420円
基金積立資産	381,899,288円
積立預金	155,658,140円
資産の部 合計	1,162,067,850円

負債の部	
流動負債 計	174,200,852円
事業未払金	66,966,759円
その他の未払金	76,010,271円
預り金	425,957円
職員預り金	6,182,194円
賞与引当金	24,615,671円
固定負債 計	479,102,380円
退職給与引当金	475,340,960円
長期預り金	3,761,420円
負債の部 合計	653,303,232円
純資産の部	
基本金	3,000,000円
基金	381,899,288円
国庫補助特別積立金	624,188円
その他の積立金	155,658,140円
次期繰越活動収支差額	△32,416,998円
純資産の部 合計	508,764,618円
負債及び純資産の合計	1,162,067,850円

平成28年度 支出の内訳



収入総額…1,027,118,048円
支出総額…1,045,563,541円

当期資金収支差額△18,445,493円
積立金の積み立て支出を含む

招提校區

老若男女で楽しめる

コミュニケーション麻雀

招提校區福祉委員会（柿木正裕会長）では、毎月1回、いきいきサロンを開催しています。7月5日のサロンでは「コミュニケーション麻雀」を通して参加者の交流を図りました。コミュニケーション麻雀は「飲まない・吸わない・賭けない」の原則のもと、竹で出来た大きな麻雀牌（ばい）を使ってチームで楽しめるゲームです。

初めて麻雀をする人も昔よくやっていた人も大きな麻雀牌（ばい）を手にして、「重たいなあ」「大き



大きな牌をみんなで混ぜます



柄あわせも大盛況！

いなあ」と興味津々の様子。山崩しや柄あわせなど牌（ばい）に慣れるために行ったゲームでも大いに盛り上がり、会場全体に笑い声が響いていました。麻雀が始まるとチームで相談し、牌（ばい）を選んでいる視線は真剣そのもの。配られる牌（ばい）にチームで一喜一憂しながらゲームを楽しんでいました。

ゲーム終了後、お茶を飲みながら「想像していた麻雀と全然違ってとても楽しかった」「ぜひもう一度やりたい」と話していました。

地域の福祉 最前線



校區福祉委員会 ～小地域ネットワーク活動～

小地域（枚方市では小学校区）単位で、支援を必要とする人に近隣住民が関係機関と連携して見守り・支援を行っています。

問い合わせ

地域福祉課 地域福祉推進グループ
TEL 807-3448 FAX 841-0182

桜丘校區

認知症予防

運動や健康的な食事で

桜丘校區福祉委員会（森崎武史会長）では、7月7日に認知症予防や健康維持増進を目的に「ここからからだ生き生き講座」を村野会館にて開催しました。

保健センターから作業療法士と管理栄養士を講師に招き、運動や健康的な食事の摂り方をテーマに、ひとり暮らし高齢者と老人会の皆さんが参加しました。

からだを使った運動では、リズムに合わせて手拍子や足踏みをし、家でも簡単にできる運動を体験しました。

頭を使った運動では、バラバラにした文字を組み合わせ、漢字を当てるなど、参加者は、ど



健康づくりは、運動と食事が大切！



手足を使ってリズム体操

んどん難しくなっていく問題に真剣な表情で挑んでいました。

講座終了後は、参加者同士の交流会を開催し、弁当を食べながら、楽しくおしゃべりをしていました。

参加者からは、「いい時間を過ごせた」「普段から健康面に気を付けようと思った」などの声がありました。

森崎会長は、「高齢化が進む中、自治会や老人会などの協力を得ながら、市の出前講座・ボランティアの歌・落語など、趣向を凝らした行事を企画していきます。まずは、校區の認知症による事故ゼロが目標です」と話していました。

気軽に
ご相談を

地域の福祉お助けマン!
いきいきネット相談支援センター

CSW

コミュニティソーシャルワーカー

問い合わせ
枚方市社会福祉協議会 TEL 807-3448
地域福祉課 FAX 841-0182
枚方人権まちづくり協会 TEL 844-8866
FAX 844-8799

「二日でも長く、自分の力で暮らしたい」「話題の認知症の予防法を習ってみたい」という声が多く寄せられます。

またの話題まで、生活全般にまつわる様々な相談が寄せられます。

まずは一度
出張相談会へ

CSWは個別相談を受けるだけでなく、高齢者の健康や生活に役立つ福祉情報などの啓発にも取り組んでいます。

CSWの出張相談会は、市内15カ所で開催。詳しくは上記の問い合わせ先まで。



「なごみの里」職員による体操指導

られ、出張相談会場のひとつである総合福祉センター、高齢者サポートセンターと社協のCSWの共催での「介護・福祉・健康の連続講座」を開催。7月25日の講座では、「からだほぐし体操」や「ながら体操」を行いました。

枚方市民生委員児童委員協議会

**民生委員制度は
創設100周年を迎えます**

スローガン「人々によりそい100年これからも」



大正6年に民生委員制度の前身である済生顧問制度が設けられて以来、今年で100周年を迎えます。これを記念して、枚方市民児協は枚方市に時計塔を寄贈されました。時計塔は、民生委員の活動拠点のひとつである「ラポールひらかた」に設置されています。



道行く人々に時を知らせています

問い合わせ
地域福祉課 地域福祉推進グループ
TEL 807-3448 FAX 845-1897

日本赤十字社活動資金募集の中間報告

住民の皆さまにご協力をお願いしている赤十字運動の中間集計（7月28日現在）を報告します。引き続き募集を行っていますので、ご協力をお願いいたします。

会員(500円以上)	163,600円
寄附金(自治会一括含む)	11,880,694円
法人・団体・個人	35,212円
合計	12,079,506円

問い合わせ
地域福祉課 生活支援グループ
TEL 807-3017 FAX 845-1897

**赤い羽根共同募金
地域の福祉
みんなで参加**



今年も赤い羽根共同募金がスタートします。

「赤い羽根共同募金」は、地域福祉の推進を目的として、各種社会福祉事業の推進に役立てられています。皆さまのご協力をお願いします。

●募金期間

10月1日(日)～12月31日(日)

●募金の種類

バッチ募金 1個 500円
プリペイドカード募金 1枚 1,000円
(内500円が募金されます)

●街頭募金のお知らせ

枚方市駅周辺

10月2日(月) 午後2時～4時

くずは駅周辺

10月3日(火) 午前10時～12時
午後2時～4時

問い合わせ

総務課 TEL 844-2443 FAX 845-1897

わいわいウォークラリー

- 内 容** ウォークラリーを通して、障害のある人もない人も楽しく交流してみませんか。
淀川河川敷でスタンプラリーやゲームをしてみんなでわいわい楽しみましょう！
- 日 時** 10月15日(日)午後1時～午後3時30分
(雨天決行)
- 場 所** 集合場所 ラポールひらかた 円形広場
※雨天時は、室内での取り組み
- 対 象** 枚方市在住の人(介護が必要な人は介護者と参加してください)
- コース** 淀川河川敷周辺(往復 約4km)

参加費 200円
(参加賞・保険代・飲み物代等)

主 催 地域支援センター ゆい

申込み 電話・FAX(下記)
枚方市社協地域支援センター ゆい
(障害者支援センター)まで。

定 員 130人
※定員に達した時点で、受付を終了します。



問い合わせ 地域支援センター ゆい
TEL 808-2422 FAX 808-2423

第7回 ひらかた社協ふくしフェスティバル

社協と共に地域福祉の活動を行うボランティア・福祉施設・関係団体などが、活動紹介や発表を通して、多くの市民の皆さまと「出会い」、そこで生まれた「つながり」をもとに、だれもが安心して暮らせるふくしのまちづくりへと「ひろまっていこう」よう思いをこめた催しです。

日 時 11月11日(土) 午前10時～午後3時

場 所 ラポールひらかた

●たべる・のむ

軽食や飲み物、手作りのお菓子などを販売。

●つくる・あそぶ(体験コーナー)

体験コーナーやおもちゃづくりなどがあります。

●ふれあう・かんじる

音楽や歌、マジックなど楽しいライブがいっぱい。

※館外でのステージは雨天中止

●わかる・たのしむ

各団体の活動紹介パネルや作品などを展示します。

●カプラワークショップ (事前予約制)

イチ押し!

「魔法の板」と呼ばれるカプラを使い、みんなで協力して迫力満点の作品を作しましょう!

場 所 4階 大研修室

時 間 午後1時～3時

定 員 60人(先着順)

申込方法 下記へ電話かFAXにて連絡

※参加者の氏名・年齢・連絡先をお知らせください。

※手話通訳あり



問い合わせ・申込

総務課(月～金 午前9時～午後5時30分)
TEL 844-2443 FAX 845-1897

●運営ボランティア募集●

たくさんの笑顔に囲まれながら、一緒に盛り上げませんか?

定 員 10人程度

受付期間 10月2日より

活動時間 午前9時30分～午後4時

内 容 ●総合受付 ●スタンプラリーの景品係
●会場設営・撤去など

※活動内容を変更する場合があります。

※交通費補助500円と模擬店で使える500円の金券を支給



※定員に達した時点で、受付を終了します。

●キッズボランティア募集●

模擬店などのお手伝いをしてくれる小学3年生以上のキッズボランティアを募集します。

定 員 10人程度

受付期間 10月2日より

活動時間 午前10時～12時30分まで

※お手伝いをしてくれたキッズボランティアには、模擬店で使える500円の金券を支給します。

※活動参加には保護者の承諾と会場までの送迎が必要です。



問い合わせ・申込 枚方市ボランティアセンター(月～金 午前9時～午後5時30分) TEL 841-0181 FAX 841-0182



第29回 健康・医療・福祉フェスティバル

ここからでも健康に みんなでのばそう健康寿命

日時 10月22日(日)午前10時～午後3時30分

場所 ラポールひらかた

●いろいろな体験コーナー

血液型判定・血糖値測定・視力測定・聴力測定・肺年齢・素肌年齢測定・歯の検診・ブラッシング指導・フッ素塗布体験など

●子どもと一緒に楽しめるコーナー

- ・ボランティアと手作りおもちゃ、魚釣りゲーム
- ・ふわふわエアマット ・こども薬剤師体験 など

●ボランティア相談コーナー

●模擬店：飲食物・手作り作品など

●ノルディックウォーキング体験(雨天中止) ～歩くことから始めよう！～

ストックを使った、どなたでも行えるウォーキングです。健康維持・増進のため、気軽に参加いただけます。(ストック当方で用意)

時間 午前10時～12時

内容 インストラクターの指導を受け、淀川河川敷でウォーキングを行います。

定員 25人(超える場合は抽選)

※市内在住・在職・在学の人(小・中学生除く)

申込み 往復はがきに必要事項を記入の上、10月6日(金)までに下記へ申し込み。(1枚で2人まで申し込み可)

必要事項：「ノルディックウォーキング参加希望」参加者全員の「氏名」「年齢」「住所」「電話番号」「参加人数」

結果は、10月11日ごろに返信します。

申込・問い合わせ

枚方市社会福祉協議会(ラポールひらかた内)

〒573-1191 枚方市新町2-1-35

TEL 844-2443 FAX 845-1897

枚方市の保育園で 働きませんか!!

求人情報満載!

枚方市私立保育園連盟



hiraho.com

検索



第36回くすの木まつり

地域とともに楽しみ、暮らし、活動していくために...

今年も地域の皆さんとともに楽しい一日を過ごせるよう、恒例のくすの木まつりを開催します。皆さんのお越しをお待ちしています。



日時 10月21日(土) 雨天決行

午前10時30分～午後3時

場所 枚方市立くすの木園

(交通) 京阪バス「国際ゴルフ場前」下車
徒歩10分

内容 朝採り無農薬野菜・紙すき作品の販売、模擬店、バザー、アトラクションなど

当日、お手伝いして ボランティア募集!

販売コーナーや喫茶店で利用者の支援をしていただけるボランティアを募集しています。詳しくは、下記までお気軽にお問い合わせください。(昼食・お茶あり)

問い合わせ 生活介護事業所 枚方市立くすの木園
TEL 858-7353 FAX 858-2182

枚方市総合福祉センター文化祭

総合福祉センターでは、高齢者の健康と福祉、文化および教養の増進を目的に、趣味の講座等を実施するとともに、多くの高齢者団体が活動しています。

新たな出会いと利用促進を目的に、各団体が「みて、聴いて、体験する」文化祭を開催します。皆さまのお越しをお待ちしています。

期間 10月5日(木)～8日(日)午前中

内容

- 作品展示 書道、水彩画、編み物、折り紙など
- 活動発表 茶道(野点)、ダンス、体操、フラダンス、カラオケ・民謡など
- 講習会 吹き矢、卓球、カーリンコンなど(事前予約で各定員20人。9/2より下記問い合わせ先に電話かFAXにて受付)
- ロビーコンサート ハーモニカ、オカリナ、キーボード、ウクレレなど

他にも、グラウンドゴルフ、バンパー、ビリヤード、囲碁、将棋など有料の施設を無料開放します。楽しい時間をお過ごしください。

問い合わせ

枚方市総合福祉センター

TEL 858-5835 FAX 854-5479

<http://www.hirakata-shakyo.net/center/>

地域を笑顔にする仕事

社会福祉協議会 正規職員募集

あなたの熱意を活かしてみませんか？



応募期間 9月8日(金) 午後5時30分必着

採用予定人数 1名

採用 平成30年4月1日採用

年齢 昭和62年4月2日以降に生まれた人

応募資格 社会福祉士または精神保健福祉士、普通自動車運転免許(AT可)を有する者。
(すべて取得見込み者含む)

詳細の募集要項は、社協窓口およびホームページにて配布しています。

ご質問等は、下記問い合わせまで。

問い合わせ

総務課

TEL 844-2443 FAX 845-1897

<http://www.hirakata-shakyo.net/>

平成30年度 公募事業

市民ふくし活動チャレンジ基金助成のお知らせ

枚方市社協では、市内で活動する非営利団体等の積極的な福祉活動を応援するための基金「公募事業助成基金(市民ふくし活動チャレンジ基金)」を設けています。助成を考えている団体に対し、相談および申請などを受付けています。

～申請受付期間～

平成29年9月20日(水)～10月20日(金)

※受付時間 月～金曜日

平日 午前9時～午後5時30分

※申請は、持参のみの受付とします。

～審査方法～

1次審査 書類選考

2次審査 1次審査通過者のみ選考委員による審査「プレゼンテーション」
(11月下旬頃)

決定は、12月下旬(予定)

～助成の種類・助成額・内容・期間～

種類 (助成上限額)	助成内容	助成期間
①事業スタート助成 (助成上限額 50万円)	市内で実施する、社会福祉に関する新たな事業を立ち上げるための資金	1年間 平成30年4月1日～平成31年3月31日
②事業ステップアップ助成 (助成上限額 30万円)	既に事業を実施している団体に対し、事業の更なる拡充もしくは発展を図るための資金	3年間 ※上記期間を上限とした分割給付 平成30年4月1日～

問い合わせ

※要綱、申請書等については、社協窓口およびホームページにてご確認ください。

総務課 TEL 844-2443 FAX 845-1897 <http://www.hirakata-shakyo.net/>

こころと心の橋あたし

善意銀行・基金へのご協力、ありがとうございました。

(平成29年4月29日～7月28日現在)

●善意銀行 災害用 サバイバルパン42箱
株式会社クボタ 枚方製造所

●地域福祉推進基金

匿名	30,000円	故 曾田ノリ子	3,058,114円
匿名	1,500円	(生前に受けた感謝のしるしとして、法律事務所を通じて、遺産の一部をご遺贈いただきました。)	
匿名	2,909円		

問い合わせ

総務課 TEL 844-2443 FAX 845-1897

組織会員からのお知らせ

枚方断酒会 創立40周年記念大会

テーマ 「ともに歩こう」

日時 10月29日(日)
午後12時30分～4時

会場 メセナひらかた2階
多目的ホール

特別講演

「伴走記～アルコール依存症の現場を歩いて」

講師 読売新聞大阪本社
社会部記者 上村 真也氏

入場無料 直接会場へ

問い合わせ

枚方断酒会事務局(嶋田)

TEL 090-8573-0637

FAX 847-1923(丸山)

